

「横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」結果について

「横浜市子ども・子育て支援事業計画」（以下「計画」という。）については、現行計画の計画期間が平成 31 年度までとなっています。来年度（31 年度）末の次期計画（計画期間：32 年度～36 年度）策定に向けて、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、アンケート調査を実施しましたのでご報告します。

今回の調査結果をもとに、今後さらに分析を行い、横浜市子ども・子育て会議において、次期計画策定に向けて検討を進めてまいります。

1 調査の種類

- (1) 未就学児童の保育等に関する現状及び保護者の利用ニーズ把握のための調査
- (2) 小学生の放課後等に関する現状及び保護者の利用ニーズ把握のための調査

2 抽出方法・抽出（発送）数

住民基本台帳から無作為抽出（世帯重複がないよう抽出）

- (1) 未就学児調査 62,677 人（前回(平成 25 年)：65,590 人）
- (2) 小学生調査 66,358 人（前回(平成 25 年)：66,190 人）
- 合計 129,035 人（前回(平成 25 年)：131,780 人）

3 調査期間

平成 30 年 6 月 14 日～7 月 10 日（前回：平成 25 年 7 月 26 日～8 月 23 日）

4 調査票の回収状況

	平成30年（今回）		＜参考＞平成25年（前回）	
	回収数	回収率	回収数	回収率
(1) 未就学児調査	28,721	45.8%	31,374	47.8%
(2) 小学生調査	30,738	46.3%	28,718	43.4%
合計	59,459	46.1%	60,092	45.6%

5 次期計画策定に向けた今後のスケジュール（予定）

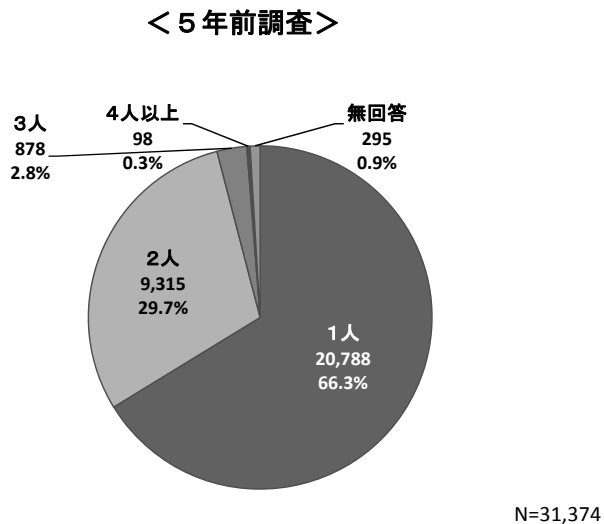
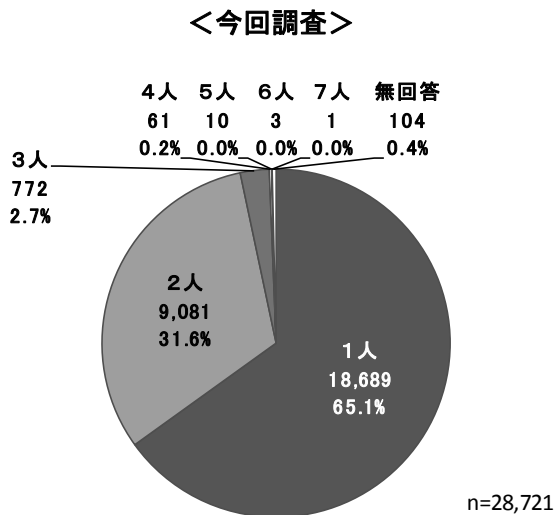
平成 30 年 12 月 12 日	第 4 回市会定例会において、「利用ニーズ把握のための調査」結果を報告
31 年 2 月	第 1 回市会定例会において、保育・教育等に関する「量の見込み」にかかる横浜市子ども・子育て会議等での検討状況を報告
9 月	第 3 回市会定例会において、計画素案にかかる横浜市子ども・子育て会議等での検討状況を報告
10 月頃	計画素案公表、パブリックコメント実施
12 月	第 4 回市会定例会において、パブリックコメントの実施結果及び計画原案にかかる横浜市子ども・子育て会議等での検討状況を報告
32 年 2 月	第 1 回市会定例会において、計画原案を説明
3 月	計画策定

【未就学児調査】（一部抜粋）

1 子どもと家族の状況

問3 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数をお伺いします。

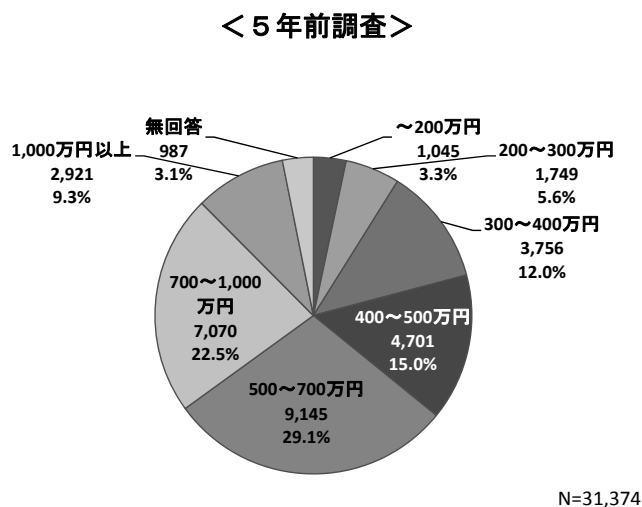
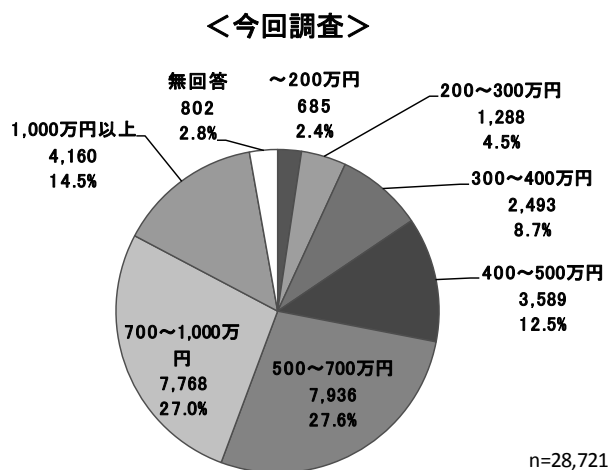
【子どもの人数】



○子どもの人数は1人の世帯が65.1%を占め、2人の世帯が31.6%、3人以上の世帯は約3%である。5年前と比べて、子どもが2人の世帯が29.7%→31.6%と1.9ポイント増加している。

問7 世帯の年収をお伺いします。（1つに○）

【世帯の年収】

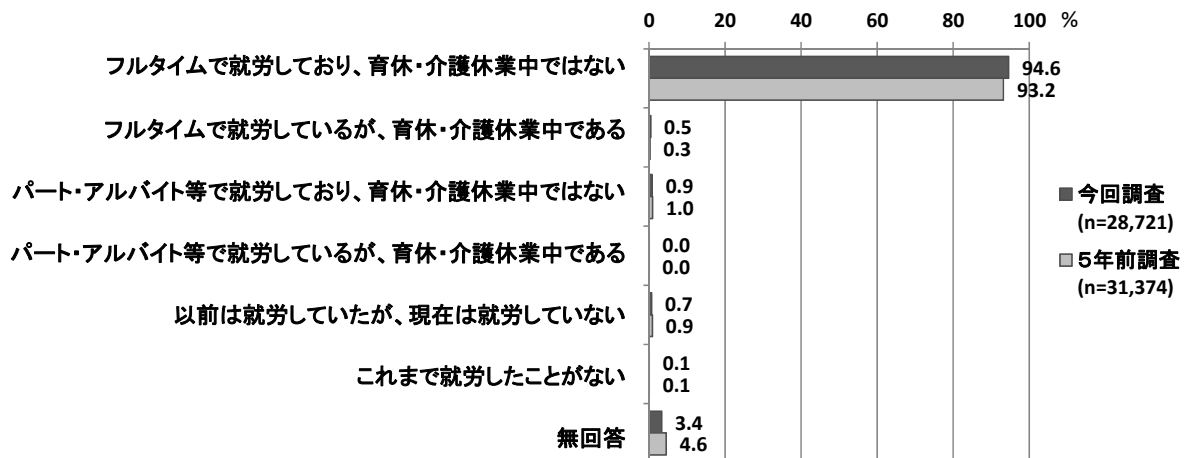


○世帯の年収は「500～700万円」が27.6%でもっとも多く、次いで「700～1,000万円」が27.0%となっている。5年前と比べると700万円以上の割合が31.8%→41.5%と9.7ポイント増えている。

## 2 保護者の就労状況

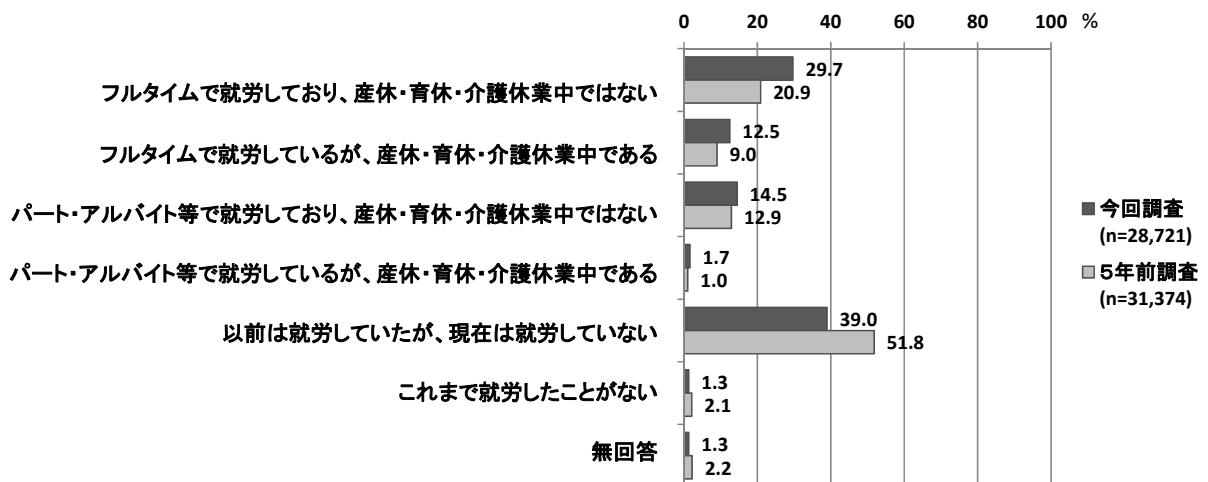
問 10 父親の就労状況（自営業及びその家族従事者含む）をお伺いします。（1つに○）

### 【父親の就労状況】



問 11 母親の就労状況（自営業及びその家族従事者含む）をお伺いします。（1つに○）

### 【母親の就労状況】



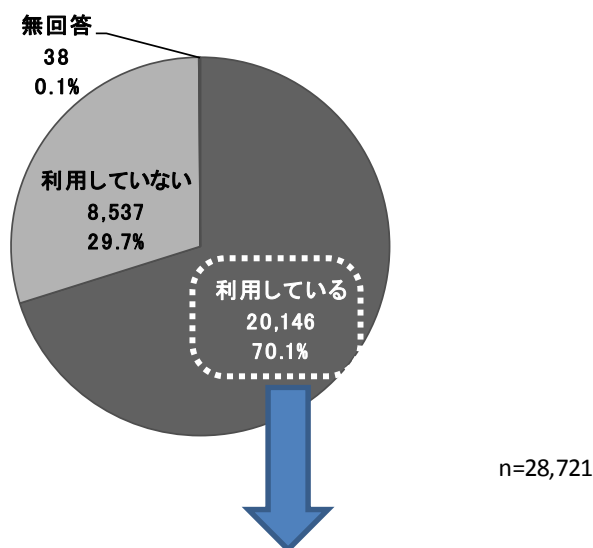
○父親は育休中等を含む「フルタイム」が95.1%で、「パート・アルバイト等」(0.9%)を合わせると96.0%が就労しており、5年前(94.5%)と比べて1.5ポイント増加している。

○母親は育休中等を含む「フルタイム」が42.2%で、「パート・アルバイト等」(16.2%)を合わせると58.4%が就労しており、5年前(43.8%)と比べて14.6ポイント増加している。

### 3 日中の定期的な教育・保育事業の利用

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

#### 【利用の有無】

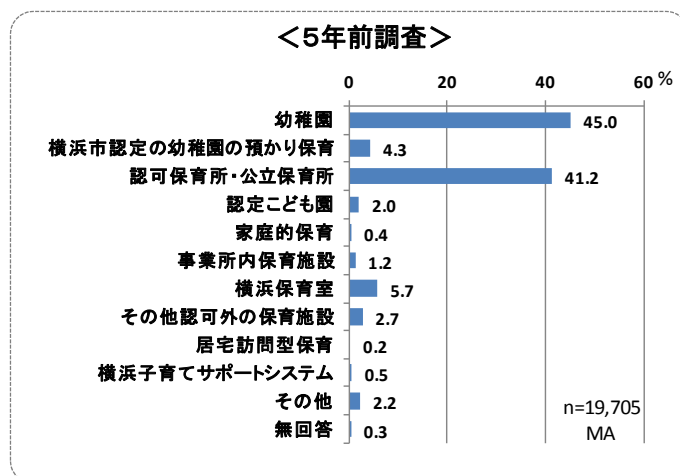
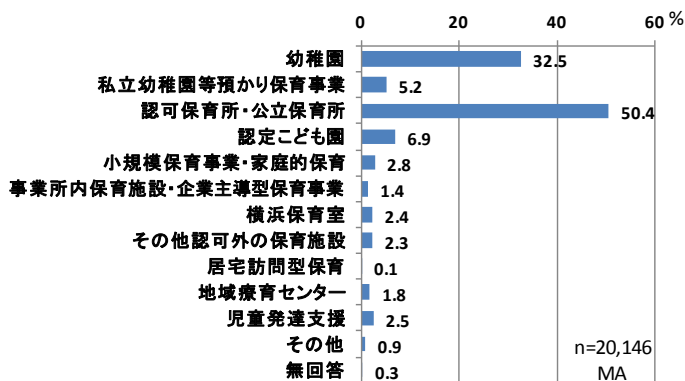


問 15-1 問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

次のどのような教育・保育の事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)。

#### 【利用している事業】



○利用の有無について、「利用している」が70.1%となっており、そのうち幼稚園が32.5%、私立幼稚園等預かり保育事業が5.2%、認可保育所・公立保育所が50.4%、認定こども園が6.9%となっている。5年前と比べると、認可保育所・公立保育所の利用が41.2%→50.4%と9.2ポイント増加している。

「日中に定期的にご利用している教育・保育事業」—子どもの年齢別

		問15-1 定期的にご利用している教育・保育の事業													
		合計	幼稚園	私立幼稚園等 預かり 保育事業	認可保育所・ 公立保育所	認定こ ども園	小規模 保育事 業・家 庭的保 育	事業所 内保育 施設・ 企業主 導型保 育事業	横浜保 育室	その他 認可外 の保育 施設	居宅訪 問型保 育	地域療 育セン ター	児童発 達支援	その他	無回答
問2 年齢	全体	20,146	32.5	5.2	50.4	6.9	2.8	1.4	2.4	2.3	0.1	1.8	2.5	0.9	0.3
	0歳	1,140	0.7	0.4	79.5	0.8	7.0	2.9	5.4	2.2	0.6	0.4	0.5	0.6	0.4
	1歳	2,393	0.6	0.4	72.0	2.1	9.9	4.7	6.0	3.6	0.0	0.2	0.4	0.8	0.4
	2歳	2,949	10.6	0.7	63.5	4.4	7.2	2.6	4.5	3.9	0.2	1.0	1.7	2.8	0.5
	3歳	4,426	42.5	5.3	44.3	8.0	0.1	0.5	1.1	2.1	0.1	1.9	2.3	0.7	0.4
	4歳	4,518	46.4	7.8	40.2	9.4	0.3	0.5	0.9	1.7	0.1	2.3	2.9	0.4	0.3
	5歳	4,423	48.7	9.1	38.9	8.9	0.2	0.3	0.9	1.5	0.1	3.0	4.4	0.4	0.3

○子どもの年齢別にみると、0歳から3歳までは「認可保育所・公立保育所」が44.3%～79.5%と最も多い。4歳と5歳では「幼稚園」が46.4%と48.7%で最も多い。

#### 4 平日の日中に定期的にご利用したい教育・保育事業

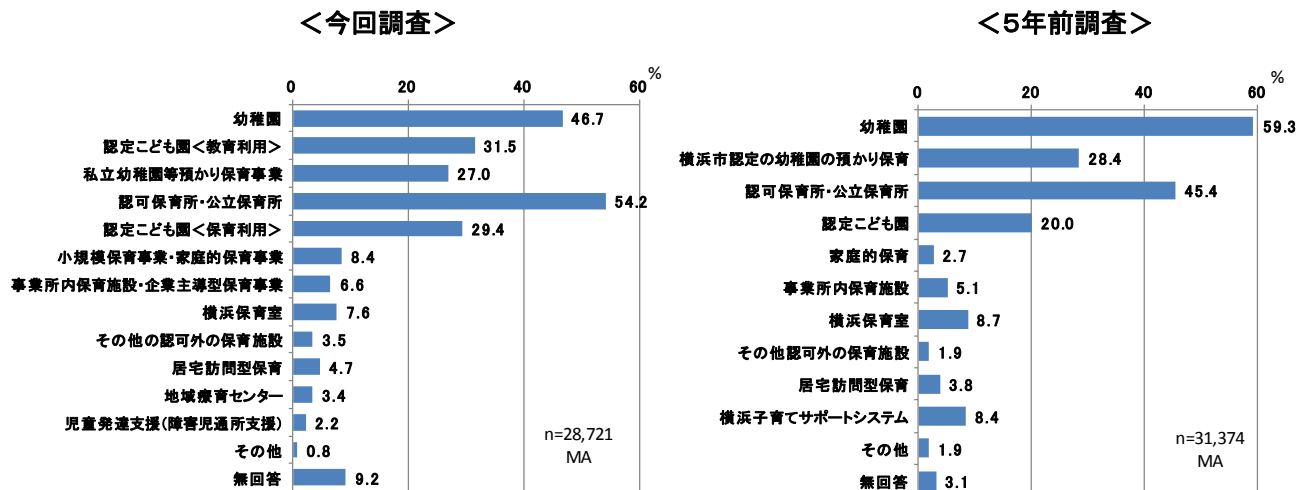
次の質問は、本アンケート回答時点で「幼児教育・保育の無償化」が実施されていると仮定してお答えください。

なお、無償化の対象かどうかは、あて名のお子さんの現在の年齢でみてください。

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の日中の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

「平日の日中に定期的にご利用したい教育・保育事業」－5年前との比較



「平日の日中に定期的にご利用したい教育・保育事業」－子どもの年齢別

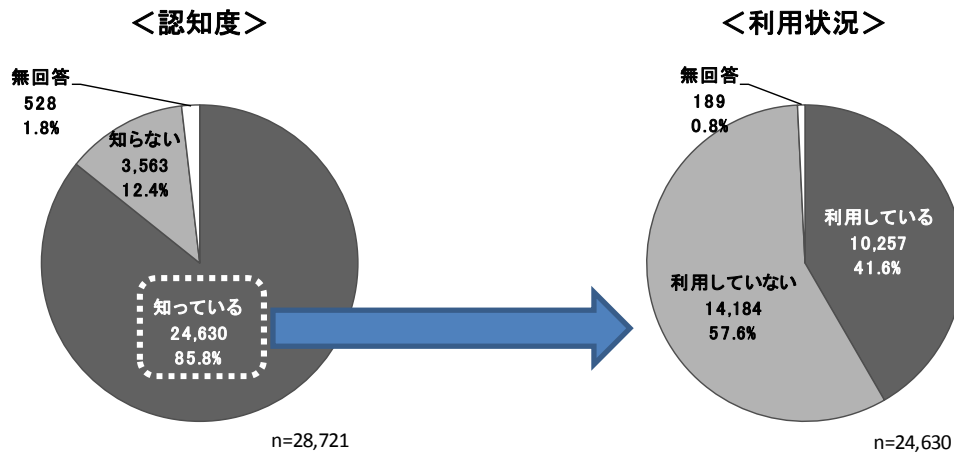
	合計	問16 平日の日中の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業														
		幼稚園	認定こども園<教育利用>	私立幼稚園等預かり保育事業	認可保育所・公立保育所	認定こども園<保育利用>	小規模保育事業・家庭的保育事業	事業所内保育施設・企業主導型保育事業	横浜保育室	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域療育センター	児童発達支援(障害児通所支援)	その他	無回答	
全体	28,721	46.7	31.5	27.0	54.2	29.4	8.4	6.6	7.6	3.5	4.7	3.4	2.2	0.8	9.2	
問2 年齢	0歳	5,144	46.0	32.8	22.0	69.8	43.9	18.9	12.5	16.4	6.4	5.3	2.4	1.1	0.8	7.2
	1歳	4,845	46.5	33.3	25.1	62.5	35.0	12.2	8.0	9.5	3.8	5.2	2.2	1.4	0.9	8.6
	2歳	4,679	47.9	32.7	28.5	54.4	29.1	7.1	5.6	6.1	2.9	4.6	3.1	2.0	0.8	8.8
	3歳	4,625	46.5	30.6	28.7	49.0	23.8	4.4	4.7	4.5	2.6	5.0	4.0	2.4	0.8	8.8
	4歳	4,581	46.8	29.6	29.5	44.3	22.2	3.3	4.2	4.0	2.4	3.8	4.4	3.2	0.4	10.7
	5歳	4,450	47.1	29.8	29.2	42.8	20.4	3.3	3.6	3.9	2.1	4.1	4.4	3.4	0.7	10.8

○「幼稚園」が46.7%、「認定こども園<教育利用>」が31.5%、「私立幼稚園等預かり保育事業」が27.0%、「認可保育所・公立保育所」が54.2%、「認定こども園<保育利用>」が29.4%となっている。5年前と比べると「認定こども園」や「認可保育所・公立保育所」が増加している。○子どもの年齢別にみると、0歳から3歳までは「認可保育所・公立保育所」が49.0%~69.8%ともっとも多く、4歳と5歳では「幼稚園」が46.8%と47.1%でもっとも多い。

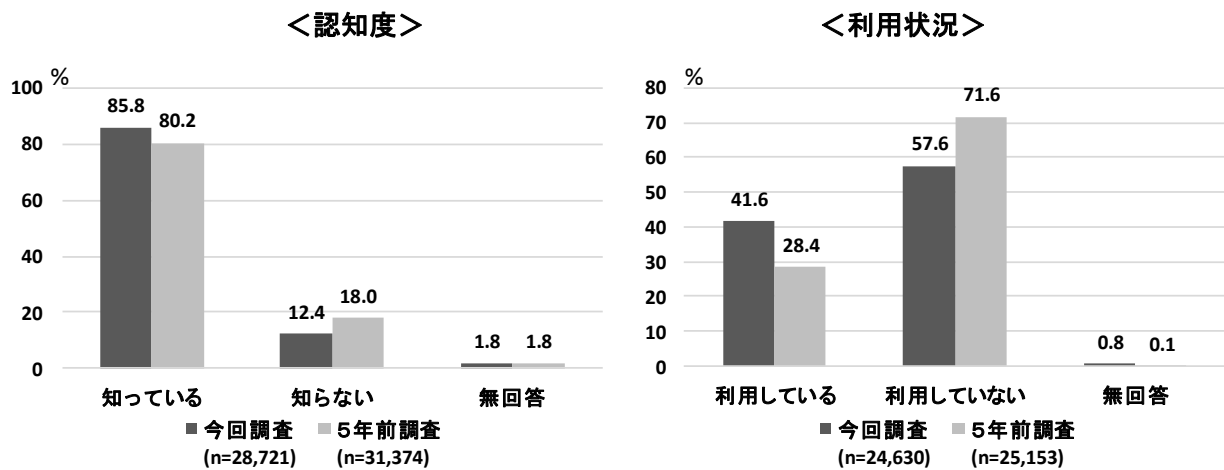
## 5 親子の居場所の認知と利用

問 22 下記の「親子の居場所」について、それぞれの親子の居場所を知っているか、利用の有無とその目的・理由、現在利用している一月あたりの日数について、それぞれお答えください。

### 【地域子育て支援拠点】



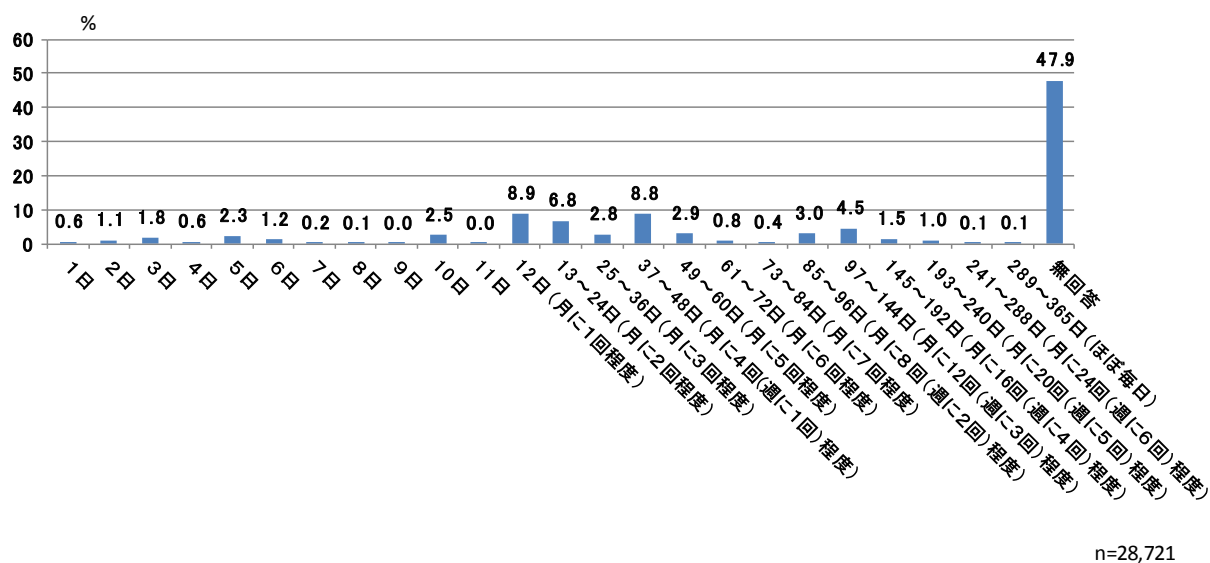
### 「地域子育て支援拠点の認知と利用」－5年前との比較



○「地域子育て支援拠点」の認知度は85.8%と高く、知っている人の41.6%が利用している。5年前と比べて、認知度は5.6ポイント、利用は13.2ポイント増加している。

問 22-1 「親子の居場所」について、今後、どれくらい利用したいですか。

【親子の居場所を利用したい日数/年】



n=28,721

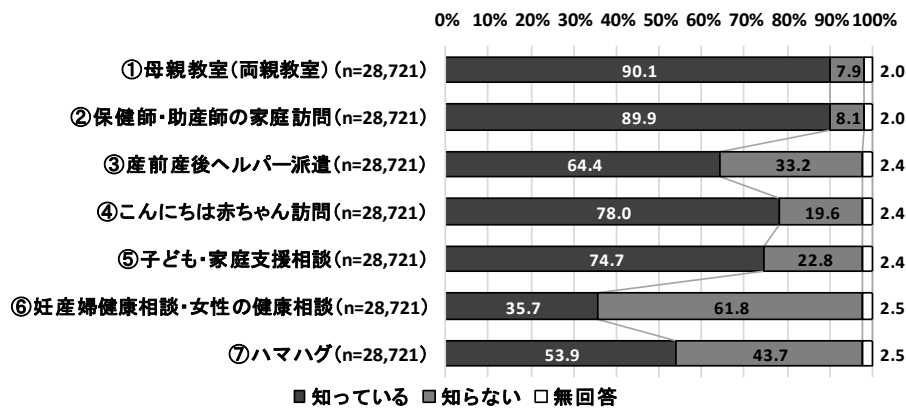
○親子の居場所を利用したい日数/年は、「12日 (月に1回程度)」(8.9%)と「37~48日 (月に4回程度)」(8.8%)が多い。



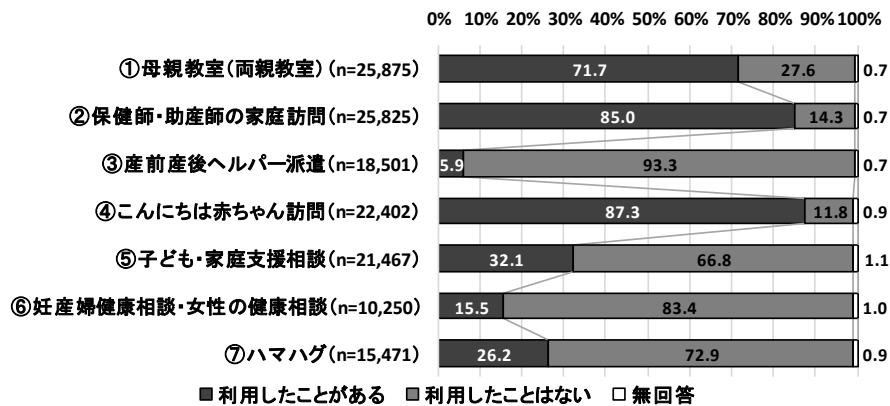
## 6 子育て支援に関する事業の認知と利用

問 26 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

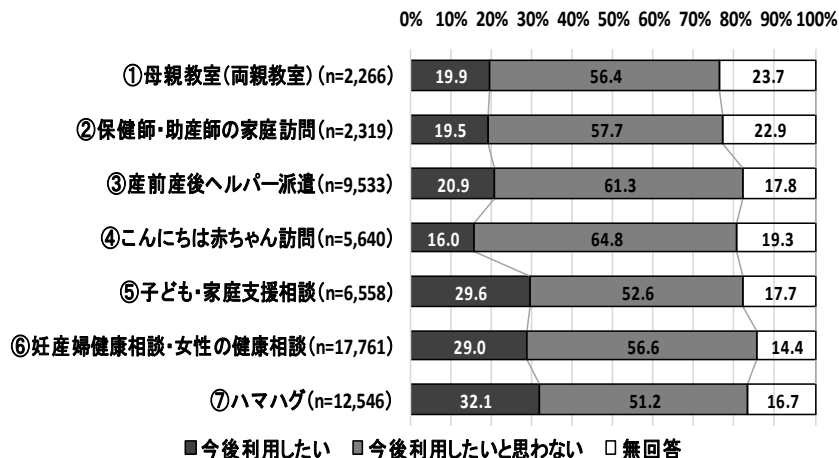
【知っている事業】



【(知っている人のうち)これまでに利用したことがある事業】



【(知らない人のうち)今後利用したい事業】

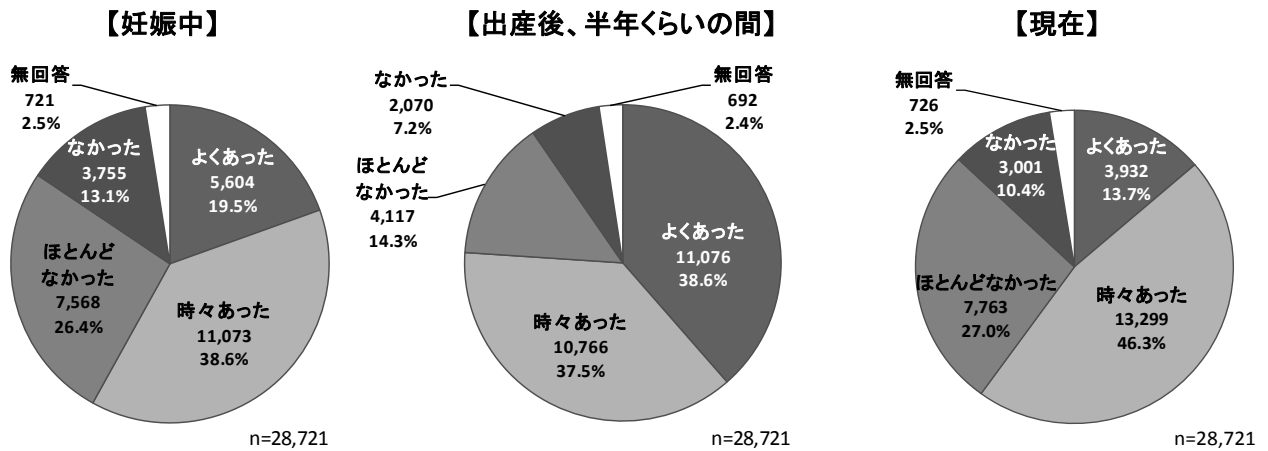


- 「知っている事業」は、「母親教室(両親教室)」が90.1%、「保健師・助産師の家庭訪問」が89.9%が多い。
- 「(知っている人のうち)利用したことがある事業」は「こんにちは赤ちゃん訪問」が87.3%、「保健師・助産師の家庭訪問」が85.0%が多い。
- 「(知らない人のうち)今後利用したい事業」は「ハマハグ」が32.1%、「子ども・家庭支援相談」が29.6%が多い。

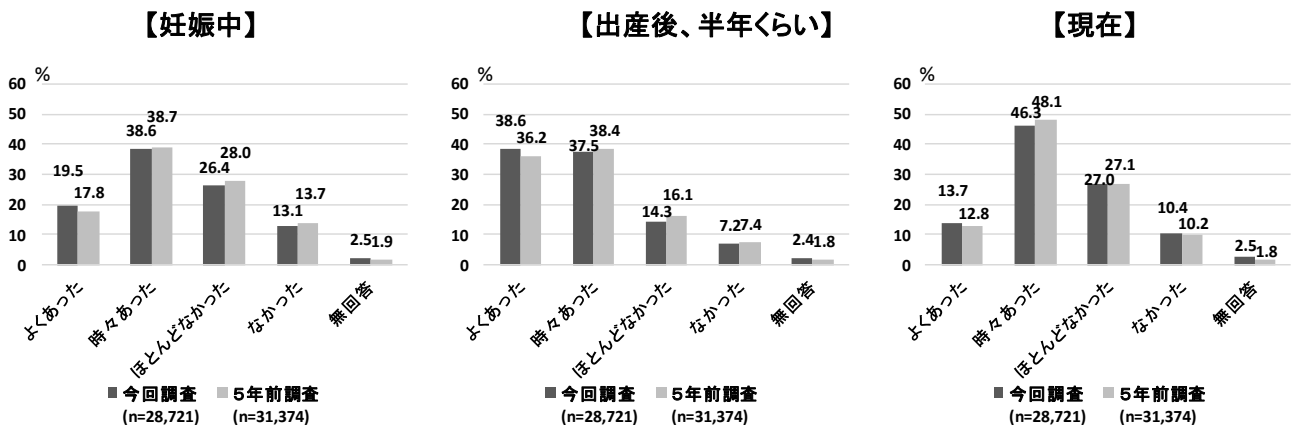
7 子育てで不安を感じたり自信が持てなくなることの有無

問 47 妊娠中から現在までで、子育てについて、不安を感じたり自信が持てなくなることがありますか。

(それぞれ1つに○)



「子育てで不安を感じたり自信が持てなくなることの有無」-5年前との比較

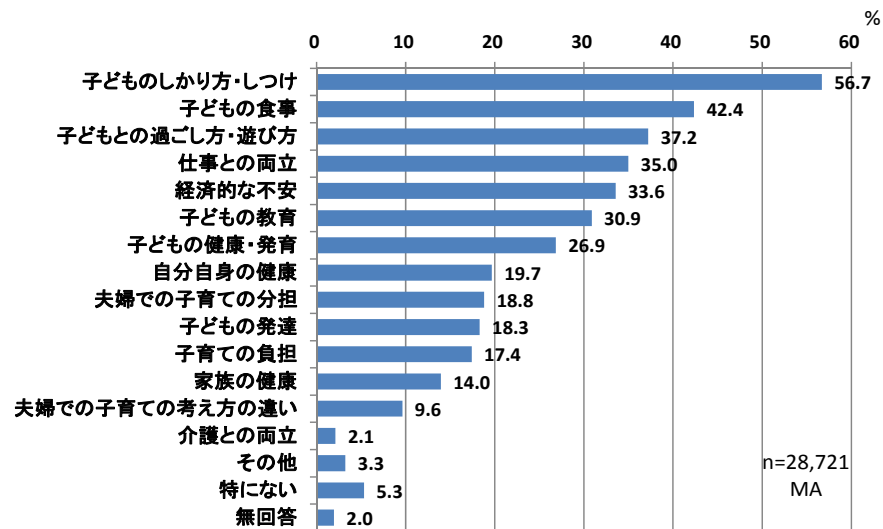


○「よくあった」「時々あった」を合わせると、「妊娠中」が58.1%、「出産後、半年くらいの間」が76.1%、「現在」が60.0%となっている。5年前と比べると、「よくあった」が、「妊娠中」「出産後、半年くらいの間」「現在」のいずれにおいても増えている。

## 8 子育てに関する困りごと

問 48 現在、子育てをしていて感じている困りごとは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

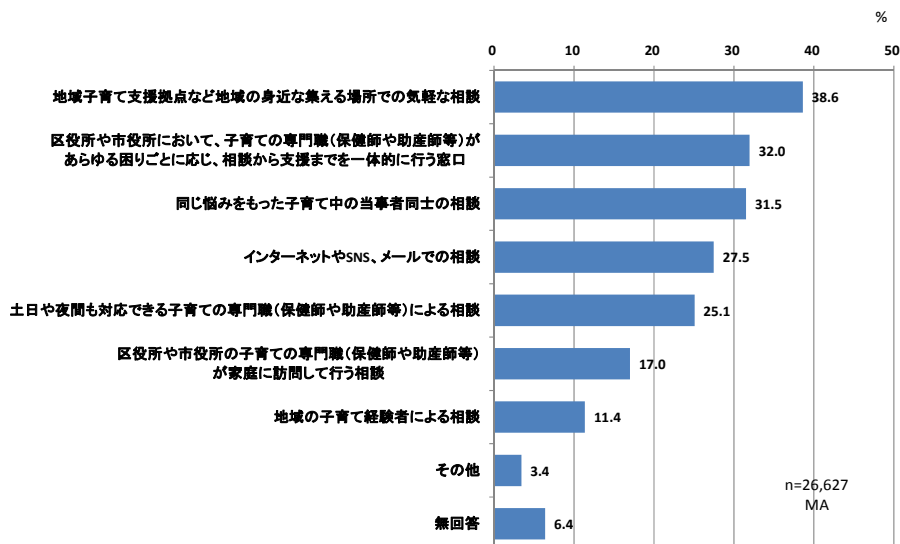
### 【子育てをしていて感じる困りごと】



○「子どものしかり方・しつけ」が56.7%でもっとも多く、次いで「子どもの食事」が42.4%、「子どもとの過ごし方・遊び方」が37.2%、「仕事との両立」が35.0%となっている。

問 49 子育てに関する困りごとに対応するために、どのような相談先があれば相談しやすいですか。(あてはまるものすべてに○)

### 【困りごとに対応するためにあれば相談しやすい相手先】

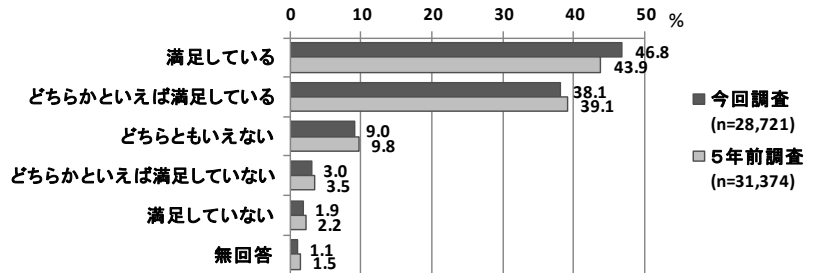
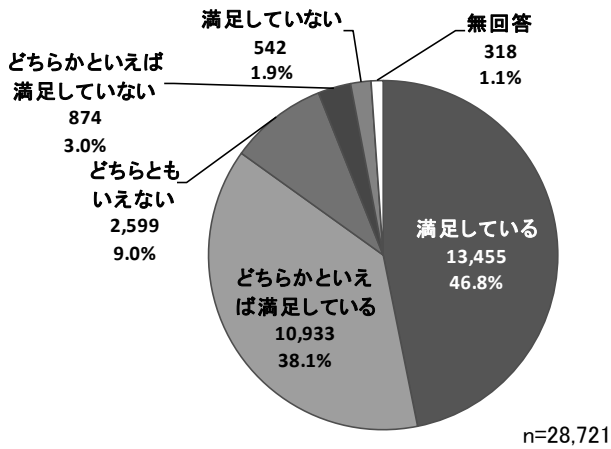


○困りごとに対応するためにあれば相談しやすい相手先は、「地域子育て支援拠点など地域の身近な集える場所での気軽な相談」が38.6%でもっとも多く、次いで「区役所や市役所において、子育ての専門職(保健師や助産師等)があらゆる困りごとに応じ、相談から支援までを一体的に行う窓口」が32.0%、「同じ悩みをもった子育て中の当事者同士の相談」が31.5%となっている。

## 9 子どもを育てている現在の生活の満足度

問 51 子どもを育てている現在の生活に満足していますか。(1つに○)

「子どもを育てている現在の生活の満足度」-5年前との比較



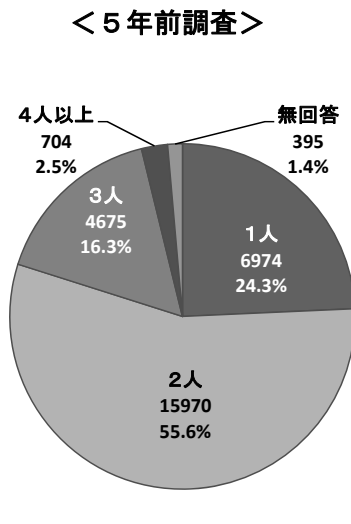
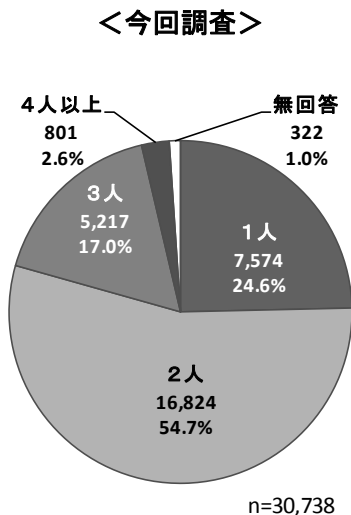
○「満足している」(46.8%)と「どちらかといえば満足している」(38.1%)を合わせると84.9%で、5年前(83.0%)と比べて1.9ポイント増えている。

【小学生調査】（一部抜粋）

10 子どもと家族の状況

問4 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数をお伺いします。

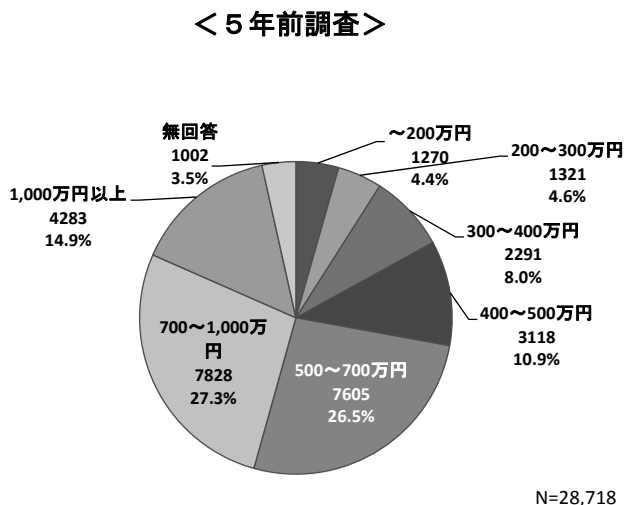
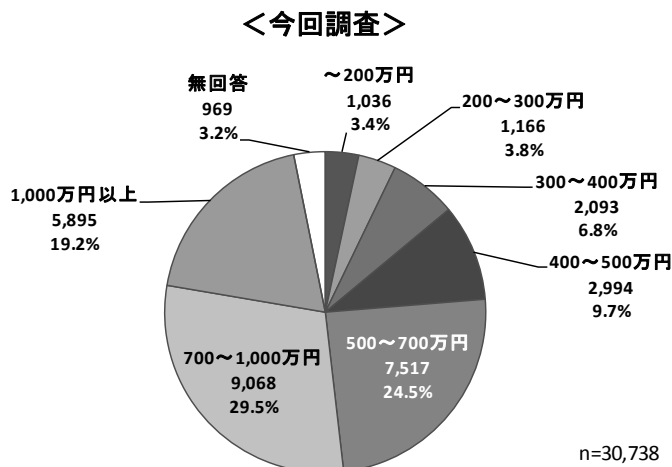
【子どもの人数】



○子どもの人数は2人の世帯が54.7%を占め、1人の世帯は24.6%、3人以上の世帯は19.6%となっている。5年前と比べると、子どもが3人以上の世帯が18.8%→19.6%と0.8ポイント増加している。

問8 世帯の年収をお伺いします。（1つに○）

【世帯の年収】

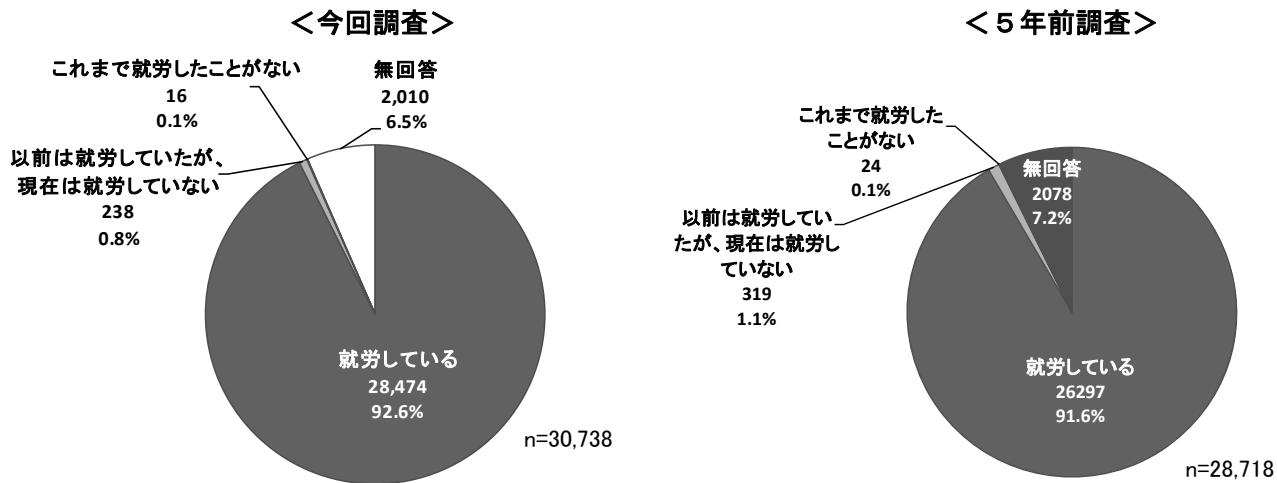


○世帯の年収は「700~1,000万円」が29.5%でもっとも多く、次いで「500~700万円」が24.5%となっている。5年前と比べると700万円以上の割合が42.2%→48.7%と6.5ポイント増えている。

## 11 保護者の就労状況

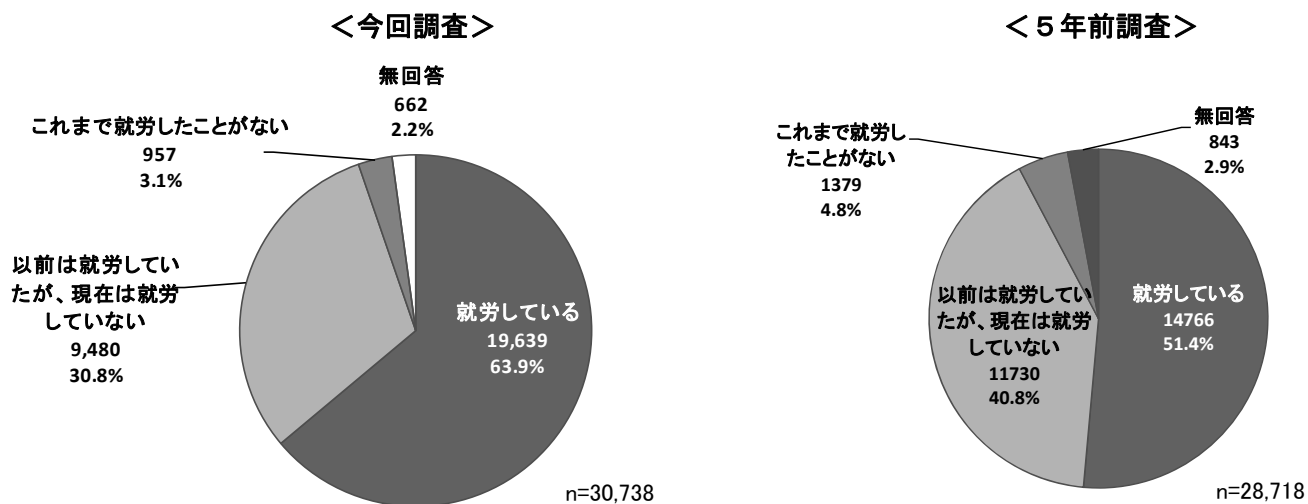
問9 父親の就労状況（自営業及びその家族従事者含む）をお伺いします。（1つに○）

### 【父親の就労状況】



問10 母親の就労状況（自営業及びその家族従事者含む）をお伺いします。（1つに○）

### 【母親の就労状況】

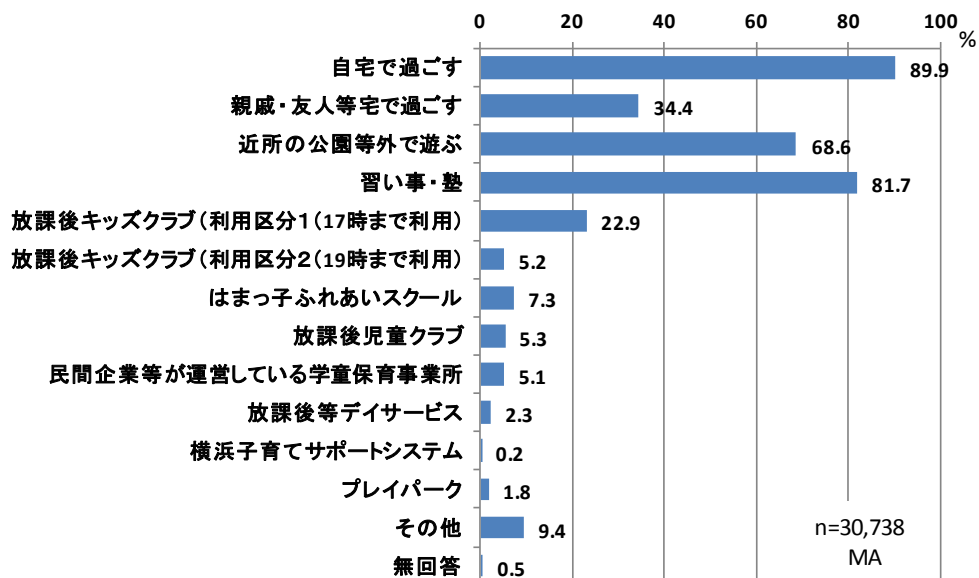


○父親の92.6%は就労しており、5年前（91.6%）と比べると1.0ポイント増加している。  
 ○母親の63.9%は就労しており、5年前（51.4%）と比べると12.5ポイント増加している。

## 12 放課後等の時間の過ごし方

問 12 通常期（学校の長期休業中を除く）の月～日曜日の放課後等の時間（土曜日、日曜日は一日中を想定）にどのように過ごしているか（事業を利用しているか）をお答えください。

（複数回答可）



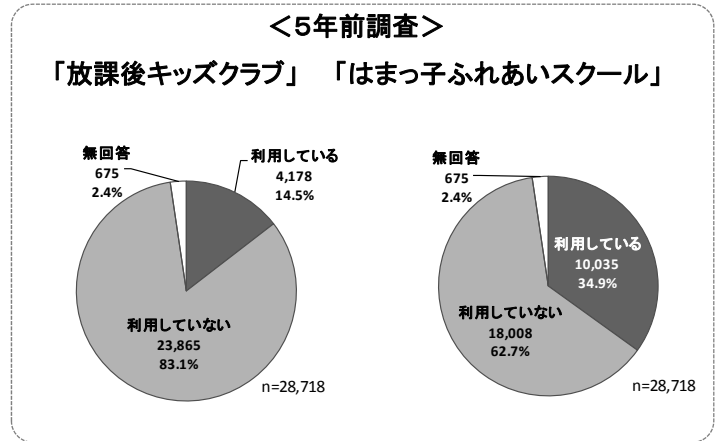
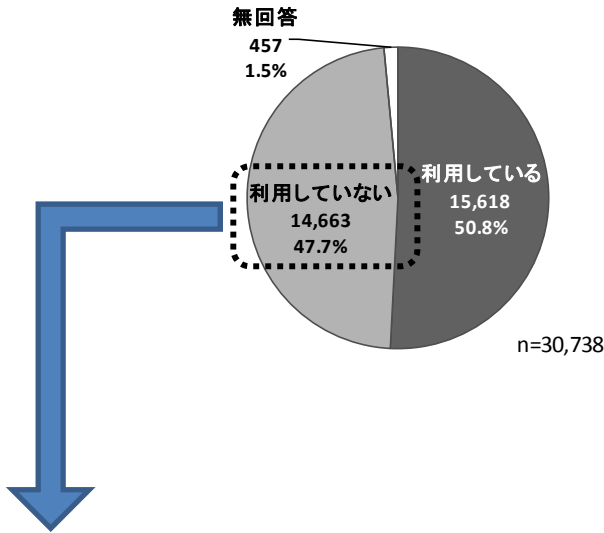
○「自宅で過ごす」が89.9%でもっとも多く、次いで「習い事・塾」が81.7%、「近所の公園等で遊ぶ」が68.6%となっている。

13 「放課後キッズクラブ」又は「はまっ子ふれあいスクール」の利用

問 14 お子さんの通う小学校にある「放課後キッズクラブ」又は「はまっ子ふれあいスクール」について、以下の質問にお答えください。

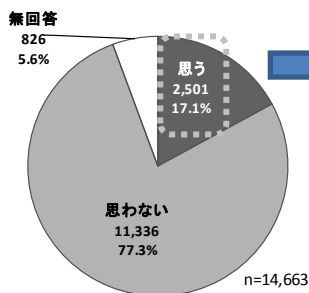
「放課後キッズクラブ」又は「はまっ子ふれあいスクール」を利用していますか？（いずれかに○）

【利用の有無】



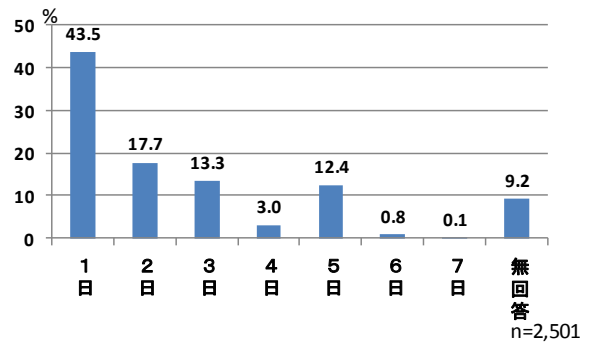
【利用していない方】

今後、利用したいと思いますか。



【利用したいと思う場合】

週何日くらい利用したいですか。



○利用している人は50.8%で、5年前（放課後キッズクラブ14.5%と、はまっ子ふれあいスクール34.9%を合わせて49.4%）と比べると、1.4ポイント増えている。  
○利用していない人（47.7%）のうち今後利用したいと思う人は17.1%で、利用希望日数は「週1日」が43.5%でもっとも多い。

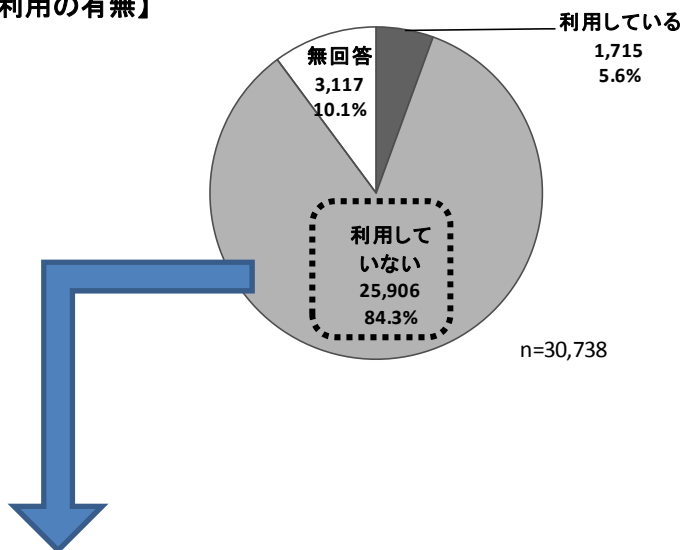


## 14 放課後児童クラブの利用

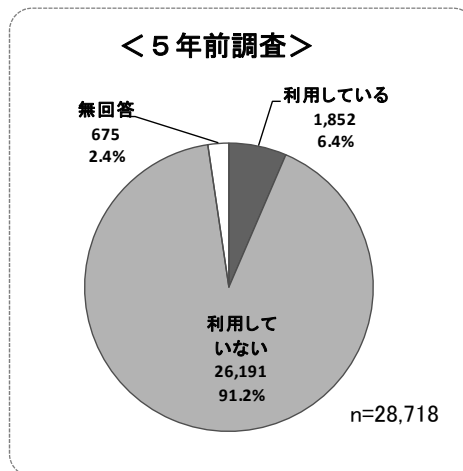
問 17 放課後児童クラブについて、以下の質問にお答えください。

放課後児童クラブを利用していますか？（いずれかに○）

【利用の有無】

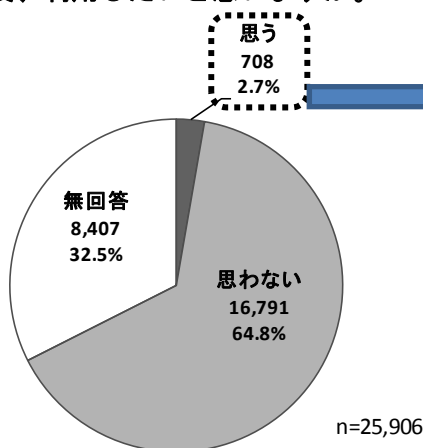


< 5 年前調査 >



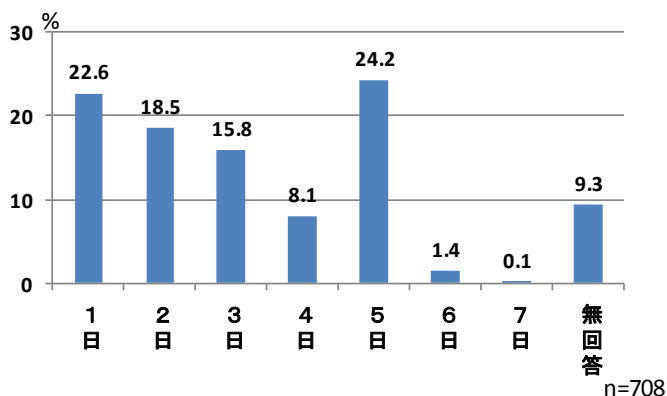
【利用していない方】

今後、利用したいとしますか。



【利用したいと思う場合】

週何日くらい利用したいですか。



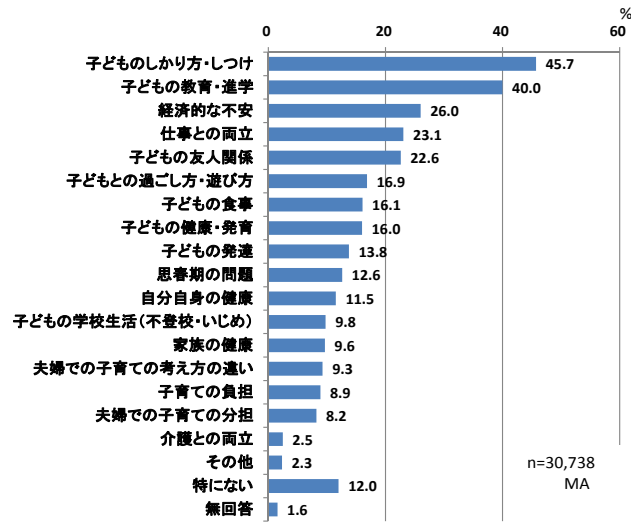
○利用している人は 5.6% で、5 年前 (6.4%) と比べると、0.8 ポイント減っている。

○利用していない人 (84.3%) のうち今後利用したいと思う人は 2.7% で、利用希望日数は「週 5 日」が 24.2% でもっとも多い。

## 15 子育てに関する困りごと

問 37 現在、子育てをしていて感じている困りごとは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

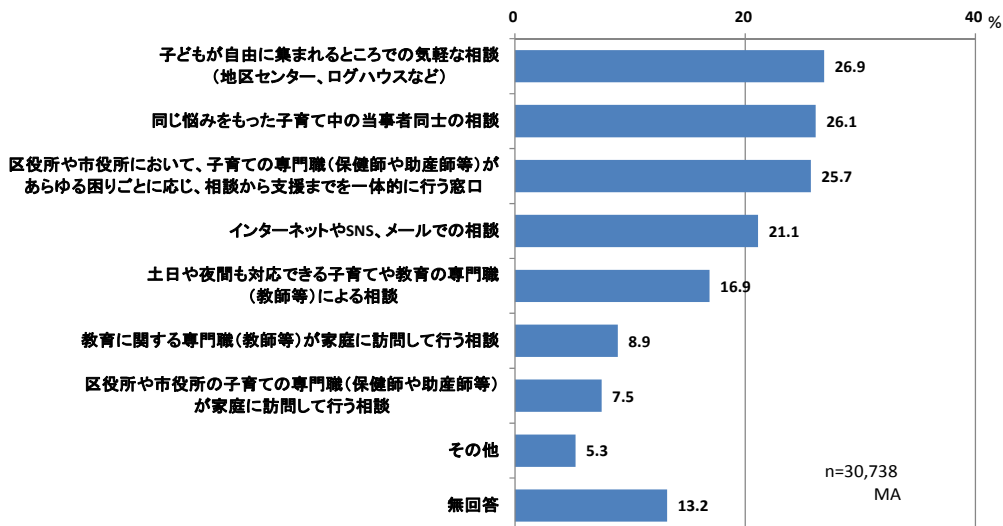
### 【子育てをしていて感じる困りごと】



○「子どものしかり方・しつけ」が45.7%でもっとも多く、次いで「子どもの教育・進学」が40.0%、「経済的な不安」が26.0%、「仕事との両立」が23.1%となっている。

問 38 子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、どのような相談先があれば相談しやすいですか。(あてはまるものすべてに○)

### 【困りごとに対応するためにあれば相談しやすい相手先】

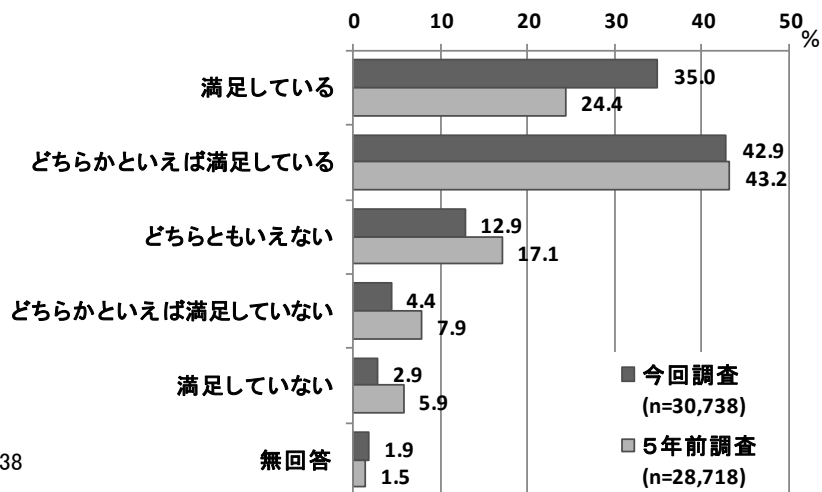
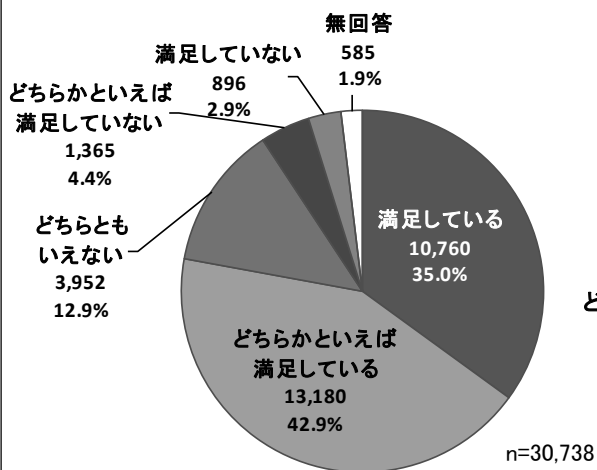


○困りごとに対応するためにあれば相談しやすい相手先は、「子どもが自由に集まれるところでの気軽な相談」が26.9%でもっとも多く、次いで「同じ悩みをもった子育て中の当事者同士の相談」が26.1%、「区役所や市役所において、子育ての専門職(保健師や助産師等)があらゆる困りごとに応じ、相談から支援までを一体的に行う窓口」が25.7%となっている。

## 16 子どもを育てている現在の生活の満足度

問 39 子どもを育てている現在の生活に満足していますか。(1つに○)

「子どもを育てている現在の生活の満足度」-5年前との比較



○「満足している」(35.0%)と「どちらかという満足している」(42.9%)を合わせると77.9%で、5年前(67.6%)と比べると10.3ポイント増えている。